



報道関係各位

2019年4月3日
株式会社 ZMP

RoboCar® Mini EV Bus に国土交通大臣政務官が試乗 －中部国際空港の実証実験を工藤政務官、田中政務官が視察－

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、2019年3月18日(月)に実施した中部国際空港制限区域内の自動走行実証実験に国土交通省の工藤政務官及び田中政務官に視察いただき、自動走行車両 RoboCar® Mini EV Bus への試乗や自動走行の実現に向けた空港特有の課題や遠隔監視システムについて説明を行いました。



視察時の集合写真



自動走行車両について説明時の様子

本実証実験は、丸紅株式会社(以下、「丸紅」とZMPの合弁会社である AIRO 株式会社)が「空港制限区域内の自動走行に係る実証実験」の実施者として、実施し、ZMP が開発した自動運転車両 RoboCar® Mini EV Bus を用い、自動走行車両による試験を行いました。

本実証実験では、バスによる乗客の輸送を想定したルートで ZMP が開発した自動走行車両「RoboCar® Mini EV Bus」で走行いたしました。RoboCar® Mini EV Bus は ZMP の RoboCar ラインナップに新たに加わった ANKAI 社製の EV(電気自動車)バスをベースにした車両であり、本実証実験が日本初公開となります。

ZMP は、本実証実験を通じて、空港制限区域内における自動走行車両の実用化に向けた課題の確認やデータ収集を行い、自動走行車両および付随サービスの商品化・販売の検討に向けた取り組みを推進していきます。



小型 EV バスベース自動走行車両
「RoboCar® Mini EV Bus」

中部国際空港制限区域内での自動走行実証実験 ウェブサイト: <https://www.zmp.co.jp/case/airport2>



【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP ロボリューション事業部 TEL:03-5844-6210/FAX:03-5802-6908/E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020年の自動タクシー®実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Deli は実証実験を重ね、量産化へ向けた事業パートナーの募集を開始しました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。